

プログラム名 (40字以内)	「地球一個分の暮らし」を考える～持続可能な農業・畜産・教育の実践～		
団体名/所属	渥美どろんこ村		
活動区分	農林水産業などに関わる地域体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	各日程5人 ※いずれか一方の日程に参加	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	現地活動のみ		
参加者に求めるもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題や持続可能性に関心がある</li> <li>・地方創生・農業の新たなあり方に興味がある</li> <li>・現場ものを考えることが好き</li> </ul>		
活動期間	①2026/9/2(水)～9/4(金) ②2026/9/7(月)～9/9(水) ※希望日程を申請受付フォームに回答	主な活動予定場所	愛知県田原市江比間町西砂畑
プログラム実施の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いのちや資源の循環を実感できる暮らしを体験する。</li> <li>・ファームステイや教育旅行まで展開する農業の可能性を探る。</li> <li>・化学肥料や農業に頼らない農業の実践に触れ、持続可能な社会のあり方を考える。</li> </ul>		
具体的な内容(800字程度)	<p>愛知県の渥美半島に位置する農家である「渥美どろんこ村」では、ただ野菜を生産・出荷するだけでなく、「地球一個分の暮らし」をテーマに、小中学生を対象にしたファームステイや都市の人に向けた畑の学校など幅広い事業を展開している。また、エコフィードで豚を育てるなど畜産も行っている。本プログラムでは、平飼いの豚や鶏の飼育、地域の畜産から出る糞尿を活用した堆肥づくりなど、循環型農業の一端を自らの手で体験する。こうした日々の営みに関わる中で、農業を軸に、環境や食、暮らしと社会のつながりについて考える機会とする。</p> <p>宿泊施設は、どろんこ村のゲストハウス。豚のしゃぶしゃぶや採れたて卵など、3食どろんこ村で育てられたものを中心にいただく。</p> <p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物を活用した豚の餌作り、飼育</li> <li>・鶏、やぎ等の餌やり</li> <li>・地域の畜産の糞尿を使った堆肥作り</li> <li>・手刈りでの稲刈り体験</li> <li>・海岸での流木拾い(燃料に活用)</li> <li>・収穫した野菜でBBQ</li> <li>・そのほか里山の資源を活用した暮らし体験</li> <li>・(希望によって)鶏の解体</li> </ul> <p>※より意欲のある人は、インターン生として事業の企画立案やSNSの運用などに関わってもらえることもある。詳しくはどろんこ村ホームページへ。</p>		
【総額】参加するための費用	38,000円		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	20,000円		
【内訳】参加するための費用(交通費)	約18,000円 (東京—豊橋間往復 約16,000円+現地移動費) 夜行バス等を利用する場合は、これより安くなる可能性があります。 JR「豊橋駅」から公共交通機関で約1～1.5時間 (電車+バス、またはバス利用)		
【内訳】参加するための費用(その他)	なし(活動期間中の食費・活動費はすべて宿泊費に含む)		
奨励金額(予定)	25,000円		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動期間中は、現地の担当者が必ず同行します。</li> <li>・事前ミーティングにて、活動上の注意事項等を共有します。</li> <li>・アレルギー等、健康面で配慮が必要な事項がある場合は、応募時にお知らせください。</li> </ul>		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	Instagram: <a href="https://www.instagram.com/doronko_mura/">https://www.instagram.com/doronko_mura/</a>		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	<a href="https://www.doronkomura.com/">渥美どろんこ村ホームページ: https://www.doronkomura.com/</a>		
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する		